

Sakura De Prog!

プログレ(伊)、HRなどの日本未公開記事の翻訳記事, オフィシャル情報をご紹介します。無断転載・複製を禁止します。

profile



読者になる

都道府県

設定しない

自己紹介

プログレ・ミュージシャンの海外インタビュー ★姉妹ブログ
★<http://blog.goo.ne.jp/ballettobronzo> <バレットディ
ブロンゾ公式情報>

categories

[Fabio Zuffanti](#)(2)

[Unreal City](#)(1)

[Tugs](#)(1)

[Gran Turismo Veloce](#)(4)

[Unreal City](#)(0)

[Barock Project](#)(0)

[Museo Rosenbach - ムゼ
オ・ローゼンバック](#)(7)

[Il Rovescio della
Medaglia](#)(5)

[RanestRane - Official
info](#)(1)

[Maxophone](#)(2)

[Alphataurus](#)(2)

[The Former Life](#)(6)

[プログレッシブ・ロック](#)(32)

[HR・HM](#)(2)

[Japanese Rock](#)(2)

login

[編集画面にログイン](#)

[ブログの新規登録](#)

Maurizio Salvi - New Trolls UT インタビュー

2012-04-08 | [プログレッシブ・ロック](#)



Maurizio Salvi

THE INTERVIEW (by Athos Enrile)

画像、内容の無断転載を禁止します。(All rights reserved@Athos Enrile)

Pictures used by permission of the NewTrollsFC/UT Uno Tempor official site.

calendar

Jul, 2013

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

Prev

Next

recent entries

[Fabio Zuffanti's ~ズツファンティから日本の皆様へのビデオ・メッセージ](#)

[ムゼオ・ローゼンバッハ、ルポ インタビュー - Stefano 'Lupo' Galifi Interview June 2013](#)

[Fabio Zuffanti's Diary ズツファンティの日記から - Ys に寄せて](#)

[Gran Turismo Veloce ~ マッシモ・ミニ・インタビューとインタビュー続き #4](#)

[Unreal City \(アンリアルシティ\) - 恐るべきズツファンティ・チルドレン - Part 1](#)

[Castle Fusion キャッスル・フュージョン 実験的前衛の香り](#)

[TUGS \(トゥグス\) - Europe Minor - ヨーロッパ800年の歴史を、文学、演劇を音楽で誘う旅路 Part 1](#)

[Facebookページを始めました。](#)

[70年代のイタリアン・プログレと政治思想 2.](#)

[Museo Rosenbach, Alberto Moreno 最新インタビュー](#)

>> もっと見る

recent comments

[とっしー/ムゼオ・ローゼンバッハ、ルポ インタビュー - Stefano 'Lupo' Galifi Interview June 2013](#)

[rockprogresso/Gran Turismo Veloce ~ マッシモ・ミニ・インタビューとインタビュー続き #4](#)

[Tatsurou Ueda/Gran Turismo Veloce ~ マッシモ・ミニ・インタビューとインタビュー続き #4](#)

[とっしー/Unreal City \(アンリアルシティ\) - 恐るべきズツファンティ・チルドレン - Part 1](#)

[rockprogresso/Facebook](#)



Picture: NewTrollsFC

2012年1月、リグリア地方の洪水被害救済のチャリティーフェスティバル会場にてNew Trolls UTのキーボード奏者のマウリツィオ・サルヴィに話を聞きました。

Notte NEW TROLLS - UT in Improvvisazioni nella sala "piena" (V4B)

Q: このリグリア地方の洪水被害救済基金のチャリティーフェスティバルをどう思いましたか？

M: 目的から言って、もう異議はないよ。でも、反応は期待以下だったかな。公演時間を短くしても、もっと集客すれば良かったと思うよ。

Q: UTはいかがですか、またUTの将来はどのようにしようとお考えですか。

M: このUTというプロジェクトは2007年に始めたんだ。別の名前で、別の人とね。で、事務所から、またジャンニ・ベレーノのライブに参加しないか打診されたんだ。

Q: あなたはもともと、「ニュー・トロルズ音楽院」の出身ですよ？

M: まあ、自分でも悩ましいところなんけどね。ただ、言えるのは、UTが僕を誘ってくれたのは、NTとは異なる方向に、さらに音楽を深めていきたかったからだと思うよ。

ページを始めました。

raba/TUGS (トゥグス) - Europe Minor - ヨーロッパ800年の歴史を、文学、演劇を音楽で誘う旅路 Part 1

rockprogresso/Facebook ページを始めました。

とっしー/TUGS (トゥグス) - Europe Minor - ヨーロッパ800年の歴史を、文学、演劇を音楽で誘う旅路 Part 1

raba/Facebookページを始めました。

raba/Facebookページを始めました。

recent trackbacks

[ロック雑感: プログレってナニ?] Arvid "Wegg" Andersen R.I.P. (Food for Thoughts, Candy for Ears)

back numbers

Jul.2013

Jun.2013

May.2013

Apr.2013

...

bookmarks

mobile



📧 URLをメールで送信

📡 RSS1.0

📡 RSS2.0

goo ブログ

goo recommends

📖 名作マンガを読みなおそう

🏆 あなたの最高傑作は？

gooブログおすすめ

🌸 「チーン♪」西本願寺のゆるキャラ、おりんちゃん

🌸 富士山世界遺産に登録！「ラベンダーと富士山」



Picture@New Trolls FanClub

Q:私はよくプログレッシブ・ロックをクラシック音楽に例えるんです。共通の音楽的要素があるだけでなく、すごくマニアックな領域の音楽が、もう永遠に支持され続けるという点です。この点はどう思われますか？

M:プログレッシブ・ロックで重要なのは、音楽に対する本能とそれを体現できる才能。あと、豊富な知識も大切だ。この要素があいまって、'70年代初期にはわくわくするような、美しい音楽が誕生した。もちろん、当時も今も？ 商業的にはだめだよな？

Q:音楽を始められた頃から、振り返って、ご自身の音楽の変遷を話していただけますか。M:そうだね。”昨日よりは少しはお利口になっている”ってことかな。今の時代にこの方法がいいかどうかはわからないけれど。僕の場合はそうだったかな。子供の頃から聞いた音をそのまま再現することがすごく楽だったよ。だから、いろいろなジャンルの音楽から栄養を吸収するのが、容易だったんだ。もちろん、今ではどのジャンルの音楽へも豊富な方法でアクセスできる。だから、好きでない音楽にも、すぐに接することができる。プログレッシブは、どの時代でも”もうおなかいっぱい”って感じかな。ここ数十年の進化の過程でもそうだよ。結局、大きな変化はなしで、細部を深く、マニアックに追求する傾向だね。

Q:'70年から今日まで、音楽ビジネスはどのように変化したのでしょうか。現代において、音楽で生活していくには何をすればいいですか？

M:僕は実際”音楽ビジネス”って概念すらよく知らないんだ。純粋に音楽をやっているだけなんでね。でも、その”音楽ビジネス”のおかげで、今日の音楽は、もうソウルやサイケだけでしか食べていけないよ。でも、音楽で生活するためには、何かを妥協せざるを得ないってことだね。でも実際には、金額と音楽の質は比例していないよ。僕のアドバイスは、音楽を”職業”としてとらえないこと。音楽は”信念”なんだ。

最新記事一覧

公式Facebook

公式Twitter

ブログの新規作成

お知らせ

その料理、パシャッとささっと
ブログにしちゃお

のんびり仮想生活に、前回好評のアイテムが復活

無料で安心、写真も便利な
gooブログ♪

gooブログをさらに便利で快適に使うには？

PC初心者にも安心のブログ
教材販売中



Picture: New Trolls Fanclub

Q:どのような観客を前にすると、満足感がありますか？

M:聞いている人に喜びを与えること。その気持ちを分かち合えること。

Q:これまでの音楽体験で、とても楽しかったことは何でしょうか。

M:記憶をたどると、おもしろおかしいことは沢山あったよ。でも、どれかを選ぶなんてできないよ！ごめんよ！！

Q:では、夢についてですが、音楽において、向こう3年先では何をしているでしょうか。

M:音楽はやめないよ！

僕は、音楽が与えてくれる喜びも、痛みも、すべて好きなんだ。

Notte NEW TROLLS . servizio e intervista al TG RAI (V4B)

Biography is the official site of the UT:

<http://www.utunotempore.com/>

公式バイオ(概略): <対訳ではありません>

ジェノバ生まれ。5歳でピアノを始める。クラシックの正確な技巧をベースに、ロックまで音楽の幅が広がる。

'60年代後半:地元でいくつかのバンドに参加。



Picture New Trolls Fanclub

1970:ニュー・トロルズ加入で音楽の方向性が決定。学校を退学し、音楽に専念。
あらゆる種類の音楽を実験的に演奏。
ニュー・トロルズでは、L. E. Bacalovの”コンツェルト グロツソ No. 1”では苦勞を味わう。。

NEW TROLLS-Le roi soleil live 2003

UTの結成では意思決定権を掌握。
UTの基本はあらゆる音楽の実験的な試み。

IBIS Prog Machine - It Should Have Been Me

多数のイタリアのポップ・ロックのフェスティバルに参加。

ニュー・トロルズ解散後、マウリツィオはベレーノ、ディ・パロと別のユニットを結成。アルバム UT、“Songs of Innocence-Songs of Experience”を発表。

ベレーノがバーネルに交代し、IBISとして”Sun Supreme”を発表。これは音楽的興味の範囲を旺盛にしたとのこと。

“Tritons”とコラボし、ローリング・ストーンズなどのカバーをする。

本プロジェクト脱退後は、クラシックの勉強に戻る。しかし、ロックへの興味を失うことはなかった。

クラシックをメインにディレクション業務を行う。MIDIファイルを多数制作。

特に若手の演奏家のクラシックのコンサートを好む。Bacalovのコンツェルト グロッソ No. 1と2のオーケストレーションの監督を務める。デ・スカルツィとライブ・バージョンで再現する。これはThe history of New Trollsとして、日本と韓国でツアーを行う。

NEW TROLLS- JAPAN TOUR 2006

指揮者として、ルチアーノ・パパロッチィとコラボ; 現在もN. Paganini音楽院の合唱団長、歌手でもある)。'81年には合唱アンサンブル'Harmonia"を結成。

デ・スカルツィの脱退後、Ibisを結成し、“Ibis Prog Machine”では英語歌詞でニュー・トロルズの “Who can tell me”レコーディング。

IBIS-PASSA IL TEMPO(Di Palo-Salvi)

Ibis Dedicated a Janis Joplin

2011:ベレーノ、チンケグラナ、ペロツツイ、ゴーリで“UT-A Tempore”を結成。

訳注:現在、マッシモ・ゴーリは、2011年TRIPでも来日したファブリ・キアレツリに交代。

☆数日前に、イタリアのTV出演したベレーノ、サルヴィとペロツツイ。ベレーノがギターで3人で弾き語る貴重映像です。

NEW TROLLS - TG2 gli UT in studio - 6 Aprile 2012 (V4B)

[parts:eNozsDJkhAMmJhMjUyZjU2NGJgszSyPTNEuLZLN0rzJXL0vv+FAmGDA2xS4P1czEhKQSAMC
nDvI=

ジャンル: [音楽](#)

キーワード: [プログレッシブ・ロック](#) [オーケストレーション](#) [ルチアーノ・パバロッチェ](#)

[Comment \(0\)](#) | [Trackback \(0\)](#) | 

 0

 [チェック](#)

[ツイート](#) 3

[いいね!](#) 75

« [【訃報】Arvid 'Wegg' Anderson ...](#) | [TOP](#) | [Lino Ajello, お誕生日おめでと...](#) »

post a comment

ブログ作成者から承認されるまでコメントは反映されません。

名前

タイトル

URL

※名前とURLを記憶する

コメント

▼ [絵文字を表示](#)

コメント利用規約に同意の上コメント投稿を行ってください。
い。



数字4桁を入力し、投稿ボタンを押してください。

コメントを投稿する

trackback

Trackback Ping-URL

<http://blog.goo.ne.jp/tbinterface/79f299c0bc8d7596f0aec6d36cd35f30/e9>

送信元の記事内容が半角英数のみのトラックバックは受け取らないよう設定されております。
※ブログ管理者のみ、編集画面で設定の変更が可能です。

related topics

recent entries | [プログレッシブ・ロック](#)

[Castle Fusion キャットスル・フュージョン](#)

[実験的前...](#)

[Facebookページを始めました。](#)

[70年代のイタリアン・プログレと政治思想](#)

[_2.](#)

[Bernardo Lanzetti ベルナルド・ランゼッ](#)

[ティ〜40...](#)

[70年代のイタリアン・プログレと政治思想](#)

[_1.](#)

[Oxhuitza \(オシュイツァ\) イタリア2013年](#)

[期待の若...](#)

[Elisa Montaldo - Elisa's World エリーザ](#)

[の世界](#)

[Locanda Delle Fate/Luciano Boero 半生](#)

[記「僕のギタ...](#)

[Anna Portalupi - UTに参加しました 世](#)

[界一美しいべ...](#)

[UT-New trolls メンバーリスト 更新と紹](#)

[介](#)

[Entry List](#) | [Follower List](#) | [Photochannel List](#)

◀ [【訃報】Arvid 'Wegg' Anderson ...](#)

[Lino Ajello. お誕生日おめでと...](#) ▶